

HOPES

ホープス セカンド

2nd

「私が言い出しっぺです」。成人式の実行委員になろうと友人に声を掛けた大河内さん。10人が集結した実行委員会の委員長も務めました。「みんなで楽しめる成人式にしたかったです」。

その後、大河内さん達の成人式に、協力をしたいと申し出たのが「リバースプロジェクト」でした。震災が起きたことにより、行うことができなかった小学校の卒業式を、同

感謝をこめて笑顔の成人式

大河内 渚さん（八木沢・芦原）



今年の成人式で実行委員長を務めました。震災が起きた平成23年3月時は草野小学校の6年生。飯館中学校を卒業し、福島市内の高校に進学。現在は東京都内の大学で日本文学を学んでいます。



小学校の卒業式、そして今回の成人式に力を貸してくれた「リバースプロジェクト」の代表で俳優の伊勢谷友介さん（右端）と。右から2人目が大河内さん

じ年のクリスマスに開こうと、当時から大きく力を貸してくれた団体です。

それから7年。前回とは全く違う立場での再会に、「最初は不安もありました」と大河内さん。それでも、関東在住の委員と共に都内事務所で会議に参加し、アイデアを出し合う中で、徐々に手応えを感じていったと言います。「大人の人と会議で意見を交わしました。社会経験として今後の糧になると思います」。

そして、成人式は大成功！（詳しくはP12をご覧ください）。委員のアイデアを生かした写真の掲示やバルーンアートなどの装飾も、友人達をさらさらの笑顔にしました。素晴らしい式となり、「ほっとした」と話す大河内さん。「村はやっぱり友に会える大切な場所でした。両親に感謝を伝えることもできました」。

〈編集後記〉

● 昨年末に放送されたNHK紅白歌合戦、今号でも紹介している成人式、新春のつどいに著名な方々が訪ねてきてくれました。これは、他でもなく村民の皆さんが「一歩一歩、歩んでいるからこそ。がんばる人は応援したくなりますものね。誰かが言っていました」「がんばってきて良かった」と。時には休みたくなる時、進みたくない時もありますが、応援を背中にかけてびゅーっとなんていきましょう。（木幡）

● 3月11日の「あたりまえをありがたと思う日」に向けて、村がエピソードを募集しました。どんなお話が聞けるか楽しみですね。「あたりまえ」だからこそ、かけがえない価値があつて、しかもなかなか気づけない。手元にあるうちは羽根のように軽くて、なくした時にはその重さに耐えかねる。人の心はややこしいです。「当たり前前」こそ「有り難い」。毎日をもっと大切にしたいです。（星）



飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。